

「稚内から石垣まで」全国都市再生の更なる展開

(17年度全国都市再生モデル調査の実施)

○各都市が個性あるまちづくりのテーマを掲げ関係者が一丸となって「全国都市再生」の取組を推進

先導的な活動を支援・プロジェクト具体化を推進 (全国都市再生モデル調査)

- ・テーマ限定なし・実験的手法や実践重視
- ・呼び水による合意形成促進

地域の創意工夫を活かしプロジェクトを本格展開

- ・既に15・16年度に実施したモデル調査の約1/4が、地域の創意工夫を活かせるまちづくり交付金を活用して本格展開(333件のうち89件 総事業費約2,400億円)
 - ・それ以外にも続々と始動
- ※推進状況を公表

【例】

松山市

- ・小説「坂の上の雲」をテーマ
- ・まち全体を博物館ととらえ整備、都市観光を振興(まちづくり交付金活用)

稚内市・石垣市

- ・海に開かれた都市観光
- ・交流施設、回遊ルート等まちづくりの積極展開

伊達市

- ・高齢者等の安心まちづくり
- 人口増加、住宅地地価上昇基調

臼杵市

- ・アーケードや城への見通しを妨げるビルの撤去
- ・歴史を大切に「残す」ことを意識したまちづくり(まちづくり交付金活用)
- 観光客増加基調(12年度45万人⇒16年度55万人)

金沢市

- ・中心部の賑わい、居住を回復する戦略的な魅力づくり(まちづくり交付金活用)

平成17年度全国都市再生モデル調査

全国からの提案(587件)から、多様性を重視し156件選定・各地で推進

＜今回選定案件の特徴的分野＞

「国際交流」「大学・地域の連携」「安全・安心なまち」「健康」等
※「中心市街地活性化」など従来からの重要テーマについては、引き続き新たな切り口から取組

